

はじめに

先日、日本に一時帰国し、久しぶりに東京のライブハウスで演奏してきました。10年ぶりに立ったそのステージでは、過去の自分が感じたドキドキと、今の自分が味わう充実感が重なり合い、改めて音楽というものの力を実感しました。振り返れば、東京都内で歯科医師として働きながらも音楽活動に取り組んでいたあの頃、私はまだ心の中で「やりたいこと」を追い求める勇氣を持っていませんでした。しかし、子どもの頃から抱いていた「アメリカで学び、成長したい」という夢を叶えるため、私はそれまでの安定したキャリアをすべて投げ出し、ボストンへと旅立ちました。それは私の人生を大きく変える決断であり、同時に音楽活動を無期限に休止するという選択でもありませんでした。その選択があつたからこそ、今の自分がいるのだと強く感じています。

改めまして、私はカリフォルニア在住の米国歯科医師、歌手、ボイストレーナー、願望実現プログラム「The Artist's Journey」主宰者の竹内沙和子です。私の人生は、音楽と歯科医師という一見相反するような二つの道を歩むなかで、多くの学びと成長を得てきました。「願望実現をすべての人

に」をテーマに、今では世界を飛び回りながら、たくさんの人々と出会い、刺激を受けながら活動しています。私の生い立ちや経験を通じて、少しでも読者の皆さまが自分の人生を振り返り、勇気を持って一步を踏み出すきっかけとなれば、これ以上の喜びはありません。

私は小学生の頃、人前で話すことがとても苦手な少女でした。初めての発表で、クラスメイトに笑われたことがトラウマとなり、長い間、自分の意見を他人の前で表現することを避けてきました。しかし、音楽の授業で前に立つ機会があり、そこで初めて自分を表現する楽しさを感じたのです。人前で歌うことで初めて自分を解放し、心から音楽を愛するようになりました。それが、私の音楽の道が始まるきっかけとなりました。

そして、歯科大学に進学し、東京で一人暮らしを始めた私は、ふとしたきっかけで音楽スクールに通い始めました。最初は単なる趣味として楽しんでいましたが、次第にその中で新たな目標が生まれ、「何か人と違うことをやりたい」という思いが膨らみ、音楽と歯科医師という二つの道を追い求めることにしました。それが、今の自分を形成する大きな原動力となったのです。

24歳で歯科医師として働きながら、音楽活動も本格化させるなかで、初めて舞台に立つことができた瞬間に感じた喜びは、今でも忘れられません。それは、小学校時代に抱いた夢と、成人後に再び音楽を通して実現できた夢が重なった瞬間でした。そのとき、「音楽が私に何かを教えてくれる」という確信が生まれました。

留学を決意したとき、周囲からは「歯科医師としての道を捨てるのはもったいない」と言われました。しかし、私は自分の夢に対して迷いがありませんでした。2013年、私はついにボストン大学への研究留学を果たし、その後も音楽活動を続け、アメリカで新たな挑戦を続けています。その中で、たくさんの人々と出会い、学び、成長してきました。

今、この本を通じて伝えたいのは、人生は一度きりであり、自分の可能性を信じてどんな挑戦でも受け入れ、前に進むことで新しい未来が切り開けるということです。私の物語が少しでもあなたの心に響き、勇気を持って新たな一步を踏み出すきっかけとなることを心から願っています。